



平成16年の危険物に係る事故例

平成17年6月1日付けにて、消防庁より平成16年の危険物に係る事故例について報告されています。平成16年中に発生した危険物施設における火災・漏えい事故件数は、**火災事故が195件**、**漏えい事故が359件**、統計を取り始めて以来過去最高となっています。これらの事故による被害は、火災によるものが**死者5人、損害額51億5,953万円**、漏えい事故によるものが、**損害額4億5,159万円**となっています。

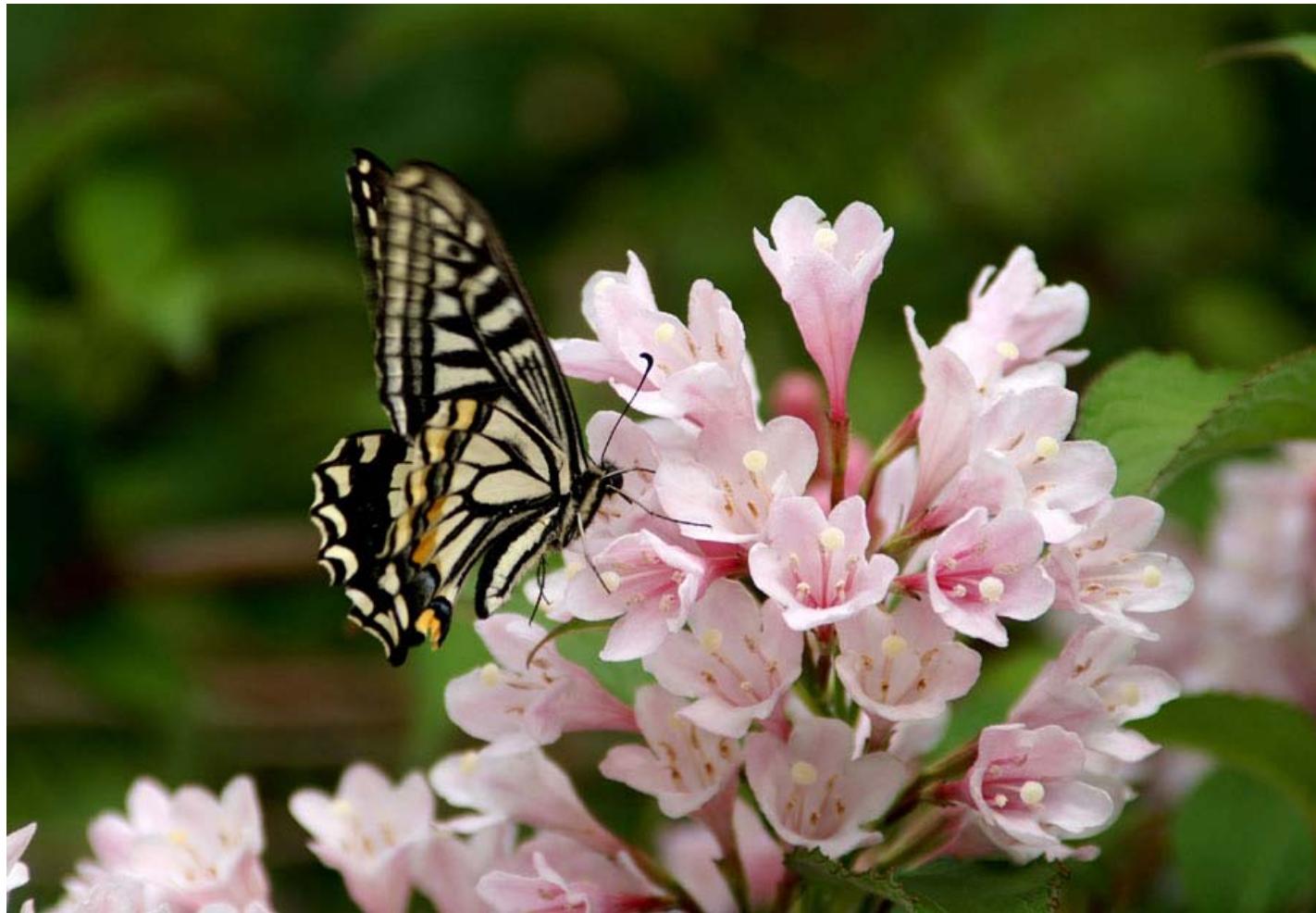
火災の発生件数は、一般取扱所が107件、給油取扱所が37件、製造所33件となっております。出荷原因物質は、全体件数の51%が第4類の危険物で占められ、第1石油類が最も多く、順に第3石油類、第2石油類となっています。発生原因は、人的要因（管理不十分・確認不十分等）が64%で、次いで物的要因（腐食等劣化・施工不良等）18%となっています。着火原因は、静電気火花が16%で、高温表面熱12%、過熱着火11%となっています。

漏えい件数は、給油取扱所84件、一般取扱所が77件、移動タンク貯蔵所65件、地下タンク64件です。漏えいした危険物は、全て第4類の危険物で、第2石油類44%、第3石油類35%、第1石油類16%となっています。発生原因是、腐食等劣化によるもの30%、確認不十分12%、監視不十分等11%です。

発生月・場所／区分／損害額	平成16年の主な事故例
1月 福岡県 一般取扱所 6,000万円	パーティクルボードの製造工場内において、大量の木粉が何らかの原因により粉塵爆発し、火災となったものと推定される。負傷者4名（重症3名及び中等症1名）。ボード製造工場約5,000平方メートル焼損、東側延焼建物約100平方メートル焼損。
2月 岐阜県 一般取扱所 9,464万円	ガラス製壜機の第1セクション下部付近に在るスクレーバー室（ガラス冷却搬送機）屋根（中2階）付近より着火炎上したもの。原因については、スクレーバー室屋根に付着した潤滑油・金型離型剤・その他ダスト等にガラス製壜機から成形直後のガラスびん（推定温度300度）が落下し、着火した。製造工場354平方メートル部分焼し、製壜機を焼損。
5月 茨城県 一般取扱所 8,106万円	一般取扱所の粉碎機で粉碎した木材チップを乾燥させる乾燥機内部に付着したチップが炭化し、火種となりベルトコンベアを通じて一般取扱所設備内のチップに燃え広がるとともに、火の粉を吸引している集塵機及び風力選別機のサイクロンが爆発したもの。木材ボード製造工場1,134平方メートル部分焼及び集塵機1基、風力選別機2基、ベルトコンベア等を焼損。作業中の社員が、爆発の爆風により火傷を負い、また爆発により飛散した屋根及び壁により計10名負傷（中等症3名及び軽症7名）。
5月 千葉県 一般取扱所 2,400万円	ステンレス鋼板に圧延油を吹き付け、鋼板の圧延を行っていた圧延機にて、突然、形状不良が発生したため、圧延機を停止した。その後、火災を発見し、固定消火設備を起動させ直ちに消火したものの、ダクトを通じて、ステンレス圧延工場屋外の排気設備上部へ延焼拡大したもの。原因については、圧延機内のベアリング回転不良により、バックアップロールに焼き付きが発生し、バックアップロールと駆動ロール（中間ロール）との摩擦による発熱によって圧延油に着火したもの。圧延機の排気設備であるフィルター部を焼損。
7月 埼玉県 一般取扱所 5,020万円	印刷用の溶剤を作るため、金属容器に酢酸エチル及びトルエンの混合液を約5リットルを残した状況で金属容器を台車に乗せ、酢酸エチル容器取り出し口の所へ向かった。酢酸エチル容器のコックを開き、金属容器に注油したところ、静電気の火花により金属容器から火が立ち上がり、台車から容器が落下し、床面に火が広がったもの。印刷場18.2平方メートルを焼損。
7月 山口県 一般取扱所 4,000万円	常用電源を供給する為、定常運転中の自家発電機7基のうち1基（キュービクル内）が全焼した火災である。原因については、燃料噴射管（第5気筒管）パイプの破損により重油が噴き出しエンジンの排気高温部に触れ出火したものである。発電機7基のうち1基全焼、2基外部塗装一部剥離。
9月 埼玉県 一般取扱所 死者1名 176万円	吸着式冷凍機の効率を上げるため配管に温度センサーを取り付ける工事を作業員2名がタンク上部で開始した。ドリルで穴開け作業終了後、1名が電気溶接を実施したところ、冷却水タンク内の空気相部に溜まっていたと思われる何らかのガスに電気溶接の火花が着火し突然爆発したものと推測される。死者1名（骨折及び出血性ショック）、負傷者1名（骨折：中等症）。
9月 福井県 一般取扱所 4,196万円	工場に設置するプラスチックフィルムの加工機（コーティング機）で、フィルムにトルエン混合物を塗布するコーティング加工をしていたところ、コート液（トルエン混合物）の入った長方形の皿より突然出火したもの。原因については、プラスチックフィルムにコーティング加工を施す際、プラスチックフィルムと機械のニップロールが接触することにより発生した静電気が徐々に蓄積され、スパークした際、プラスチックフィルム表面にコーティングされたトルエン混合物の可燃性蒸気に着火し出火に至ったもの。建物約22平方メートル及びコーティング機等焼損。

9月 福島県	SUS製タンクへ酢酸エチルを小出し作業中に発生した静電気起因のスパークにより、SUS製タンク内の酢酸エチルの蒸気に着火したもの。4階製造室攪拌槽及び原料焼損。
一般取扱所	
4,196 万円	
10月 広島県	従業員が、危険物溶剤（トルエン）の小出し詰替え装置からノズル付きホースで金属製ペール缶（容量30リットル）に小出し詰替え作業中、作業の取り決めとなっているペール缶へのアースクリップ取り付けを忘れ作業したため火災となったもの。原因については、金属製容器内を危険物（トルエン）が流動することにより、金属容器が帯電導体となり、アースが取られている小出し詰替え装置に付属するノズルとの間で放電スパークし、その火花がトルエンから発生した可燃性蒸気に引火し、容器内のトルエン及び詰替え装置に延焼拡大した。工場3平方メートル及び小出し詰替え装置を焼損。
一般取扱所	
2,047 万円	
10月 兵庫県	台風により一級河川が増水し、工場内に浸水し、その水によりオープン槽の焼入油が工場内及び付近に流出した。（焼入油42.6キロリットル流出）大半の油が下流域に流出したと思われる。更に、浸水により漂っていた油が、余熱の残る炉内に侵入し発火し、周囲に漂っていた油にも延焼拡大し、工場一棟全焼したもの。
一般取扱所	
30,000 万円	
12月 広島県	塗装ブースの配管洗浄をしていたところ、キャレットボックス付近で音がしたので、見ると洗浄用のシンナーが入ったペール缶から炎が上がり、あっという間に火の回りが天井まで達し、塗装ブース一帯が火災となったもの。原因については調査中である。塗装工場（3階建）9234平方メートル焼損。
一般取扱所	
366,576 万円	
12月 静岡県	水素化ナトリウム（SH）と流動パラフィンを原料とした粗SHをリボンミキサーに投入して流動パラフィンを添加し、濃度調整をしたものを製品として、容器に詰め包装するという作業工程で、作業責任者が確認作業を行った後、作業員が粗SHをリボンミキサーの投入台から10キロずつ投入口に入れ、別の作業員が投入口内にあるステンレス網の上に乗った粗SHをヘラを使い、軽く固まっている粗SHをかき潰し、ゴミの混入の有無を確かめながら網目を通過させ、リボンミキサー内に落としていた。360キロの投入が終わり、残り90キロのうちの10キロを投入口内でかき混ぜ中、火災が発生したものである。原因については、投入口にある、かき混ぜ中のSHに作業者の汗が入り燃焼したものである。
製造所	
276 万円	

詳細は、消防庁ホームページに掲載されています。 <http://www.fdma.go.jp>



『初夏の香り』